

# 1 1. 多摩でのネコサポ約4年間の振り返り（総括）

会員数やサービス利用は順調に増加しており、さらに子育て層や共働き層など若い世代にも注力し、他地域への展開の基盤となる、地域連携の付加価値サービスの拡充を進めている。

## ネコサポ会員数

5,452名（地域住民の10%超）

現在は完全無料。お客様にとってより使いやすい形（会費以上の割引メリットがある等）での有料プランも検討中。

## 住民（利用者）／ 関係者の声

- 宅急便利用者 : いつものドライバーさんが来てくれることで安心する、**息子のように感じている。**
- 買物サポート利用者 : どんな重たい物でも、**気持ちよく家まで運んでくれる**ので、すごく助かってます
- イベント参加者 : 引っ越してきたばかりでこのような場で**お友達ができて嬉しい**（布草履作りイベント参加者）
- 家事サポート利用者 : 利用する前は、ネコサポの料金体系は高いと感じていたが、実際使ってみると**割安感を感じる**
- 地域住民・関係者 : ネコサポさんに地域の見守りを**担ってほしい**（自治会）  
最初は何のお店かわからず**入りにくかった・敷居が高い**感じがする（地域住民）

## 多摩から転居されるお客様から頂いた声

自宅内でも転倒する事が多くなり、1人での生活が困難になった為に、転居を決めました。

**転居先の町に『ネコサポ』がない事が非常に残念です。**

きっと、あなた達を求めている人はたくさんいて、今後も求める方は増える一方だと思います。

一日も早く全国にネコサポができるように頑張ってくださいね。

日々老いていく事を感じながらも

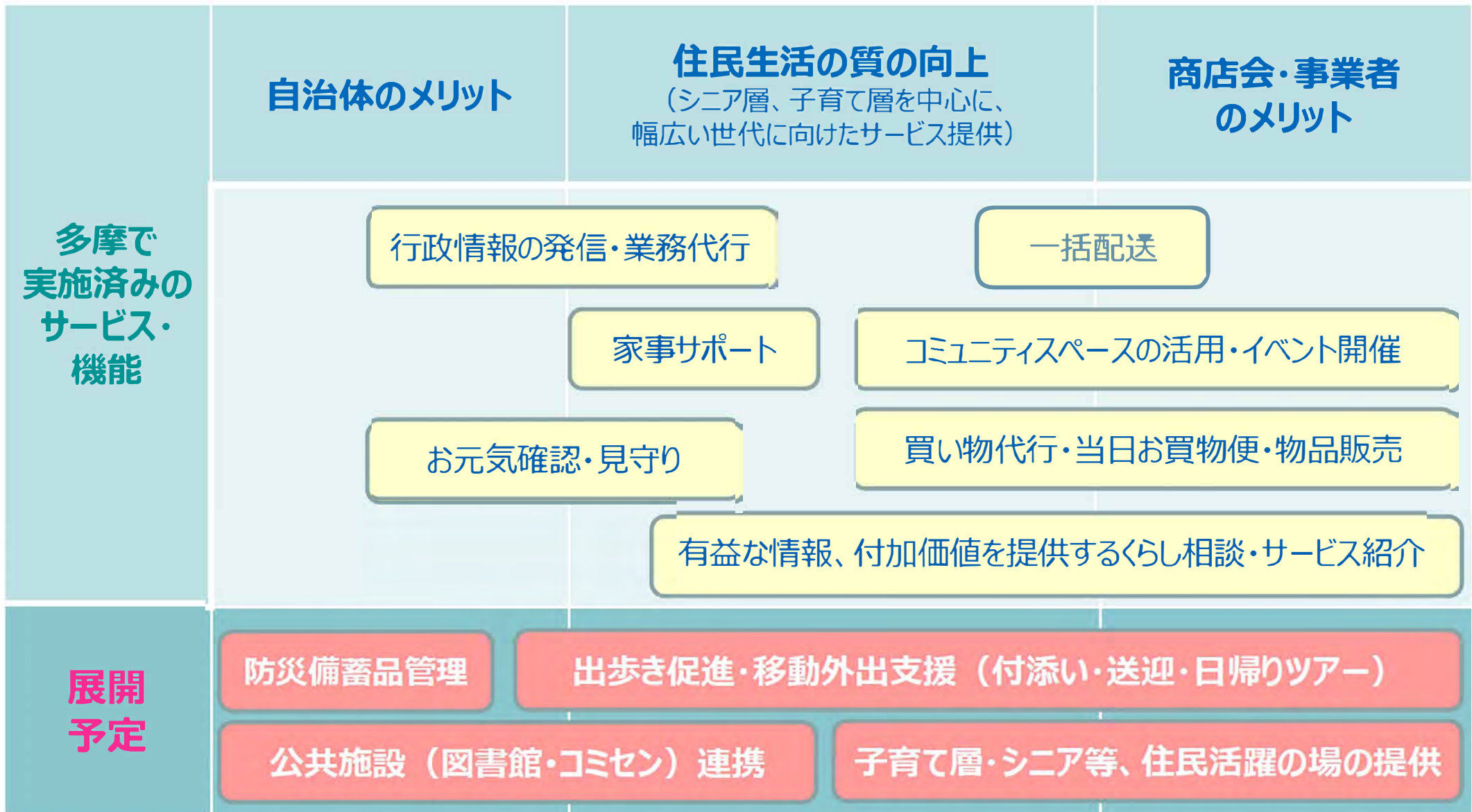
**あなた達がいてくれたおかげで、私はこの町でここまで生きる事が出来ました。**

本当にたくさんの事に手を差し伸べてくれて助かりました、**ありがとう。**

（80代女性、2019年9月17日）



## 1 2. 今後のサービス構想について



地域特性に応じて展開することで、住宅団地の再生・価値向上、  
また、社会保障分野や「くらしやすい地域づくり」にも貢献へ

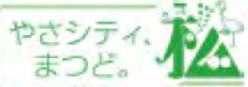


# 13. 松戸市における自治体・警察との3者協定について

## 2020年1月17日 地域包括協定の締結



左から千葉県松戸東警察署 竹内署長、千葉県松戸警察署 佐藤署長、松戸市 本郷谷市長、YTC流山主管支店 糸賀支店長、YHC東関東統括支店 横井支店長



千葉県 松戸警察署

千葉県 松戸東警察署

ヤマトグループ

2020年1月17日  
松戸市  
千葉県松戸警察署  
千葉県松戸東警察署  
ヤマト運輸株式会社  
ヤマトホームコンビニエンス株式会社

ネコサポステーションを活用し、地域共創社会の実現に向けた官民一体の取り組みを推進  
～松戸市・千葉県松戸警察署・千葉県松戸東警察署・ヤマトグループ2社が  
「地域共創社会の実現に向けた連携に関する協定」を1月17日に締結～

松戸市（千葉県松戸市、市長：本郷谷 健次）、千葉県松戸警察署（千葉県松戸市、署長 佐藤 剛）、千葉県松戸東警察署（千葉県松戸市、署長 竹内 幸治）、ヤマト運輸株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：東橋 利雄、以下：YTC）及びヤマトホームコンビニエンス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：和田 誠、以下：YHC）は、2020年1月17日（金）に「地域共創社会の実現に向けた連携に関する協定」を締結しました。5者は、昨年10月にオープンした「ネコサポステーション アラスモール松戸店」を中心にヤマトグループの経営資源を活用し、松戸市にお住まいの方々が住み慣れた地域で、安全に、安心して暮らし続けられる地域共創社会の実現を目指し、官民一体となって取り組んでまいります。

記

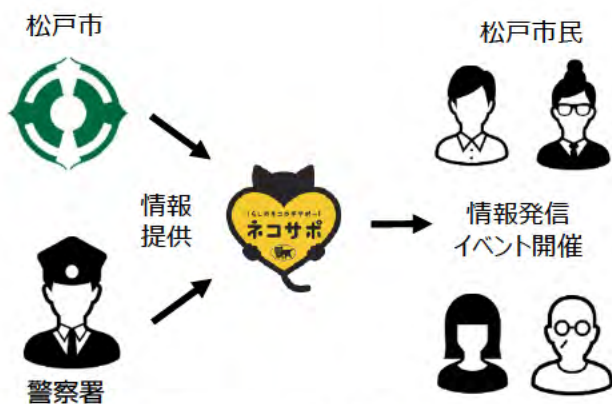
### 1. 背景

松戸市は、昭和50年代ごろに整備された大規模な団地エリアの高齢化が進む一方で、近年は都心へのアクセスの良さから、共働きや子育て世代から人気のエリアとなり、世代を問わず住民が安心して快適に暮らせる街づくりを推進しています。

ヤマトグループは、2016年から東京都多摩市内で、「くらしのサポートサービス」を開始し、地域の方々の生活をより快適にすることを目的に、買い物支援や家事サポートなどを行う「ネコサポステーション」を営業しています。昨年10月25日には、千葉県初の店舗として「ネコサポステーション アラスモール松戸店」をオープンしました。当店舗は、松戸市や近隣地域にお住まいの高齢者、子育て世代など、さまざまな年代がつながるコミュニティ拠点となることを目指し、テナントや地域事業者・団体と連携して、ヤマトグループの経営資源を活用した安心・快適な生活サポートサービスを提供しています。

これまで松戸市とYTCは2018年12月に「高齢者等見守り活動に関する協定」を締結し、高齢者や障がい者、18歳未満の子どもを対象とした見守り活動を行ってまいりましたが、安全で安心なまちづくりを目指し、さらなる相互連携を図れないか模索してまいりました。

YAMATO HOLDINGS CO., LTD.



(例)各種情報誌・チラシを店内に掲示



ネコサポステーション内の松戸市発信コーナー  
モニターとラックに設置したパンフレットで地域情報・防犯情報を発信

ネコサポステーション テラスモール松戸店にて、市政情報や防犯情報をチラシやサインージで発信  
子ども向け・子育て支援、高齢者の認知症等の介護予防、交通安全に関するイベント・講座等の開催



# 14. 今後の展開予定について



集合団地に限らず、戸建てやマンションエリア、商業施設等への出店により、生活者にとって有益な情報やサービスをつなぐ「コーディネート役」を担うことで、地域のパートナーと共に創出する新しい価値提供の形を目指す。

展開候補地	特徴・位置づけ	連携先	開業想定時期
<p style="text-align: center;"><b>待</b></p> <p style="text-align: center;"><b>松戸市</b></p>	<p><b>【郊外型商業施設と連携したテナント共創モデル】</b> 郊外型の大型商業施設「テラスモール松戸」に出店し、テナント商圏の拡大やシニア層の買い回り支援など、施設全体の付加価値にもつなげ、近隣の団地等も含めた地域一円にサービスを提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住商アーバン開発様</li> <li>・サミット様</li> <li>・マツモトキヨシ様</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>2019年 10月</b></p>
<p style="text-align: center;"><b>町田市</b></p>	<p><b>【ディベロッパーと一体での団地再生モデル】</b> ディベロッパーが集合団地の中に、「コミュニティ拠点・生活支援サービス事業」を、主体的に造成・誘致する動きと連携する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅公社様</li> <li>・地域事業者、NPO団体様</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>2022年 ～</b></p>
<p style="text-align: center;"><b>S市</b></p>	<p><b>【戸建住宅団地エリアでのタウンコンシェルジュモデル】</b> 戸建て住宅団地とその周辺の施設に対して、<b>タウンマネジメント機能・役割</b>を担い、<b>エリアコンシェルジュとしての快適なタウンサービス</b>を、街づくり・街再生の一環として提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手ディベロッパー、メーカー様</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>2022年 ～</b></p>

# 15. 弊グループにおける行政連携の紹介

## プロジェクトG (Government)

### 事業活動を通じて、地域の課題解決を継続的に支援

総案件数  
1,057

運用中の案件数  
327

協定締結数  
399

#### 見守り

##### 【取り組み】

- 独居高齢者と対面し、直接“見た”情報を行政に提供
- 民生委員が訪問すべき方を発見

##### 【例】

- 自治体の定期刊行物や、お買物代行と組み合わせた見守り支援
- リコール製品の回収チラシのご案内と組み合わせた見守り支援



#### 観光支援

##### 【取り組み】

- 手荷物預かりやお土産発送により観光地での手ぶら観光の実現
- インバウンドにも対応した観光案内



#### 客貨混載

##### 【取り組み】

- 路線バス生産性向上、路線維持  
住民の生活基盤の維持・向上
- ドライバーは営業所の往復が不要  
サービス向上・CO2削減



【電車活用】  
京都府 岐阜県



【バス活用】  
北海道 岩手県  
長野県 兵庫県  
和歌山県 徳島県  
宮崎県 熊本県

※件数は2019年9月現在 実績